

科目名	鍵盤音楽の歴史	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	森本 頼子	単位	2	年次	2

＝授業科目の目標＝

西洋音楽における鍵盤音楽（オルガン、チェンバロ、ピアノ等）の歴史について学びます。各時代における鍵盤音楽の位置づけ、楽器および楽曲形態の特徴を把握したうえで、独奏曲や協奏曲等の主要作品を分析・研究することで様式的特徴を具体的に学びとり、鍵盤音楽の豊かな歴史について理解を深めます。

＝履修の条件と学習の方法＝

西洋音楽史の基礎的な知識をもっていることが望ましいです。配布プリントをもとに、予習復習をしてください。授業では、音楽鑑賞の時間を多く設けるため、私語は厳禁です。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス（講義の目標や内容の確認）、鍵盤楽器について
- 2回 鍵盤音楽の始まり
- 3回 バロック時代（1）オルガン音楽
- 4回 バロック時代（2）チェンバロ音楽
- 5回 バロック時代（3）J. S. バッハ
- 6回 前古典派時代
- 7回 古典派時代（1）ハイドン、モーツァルト
- 8回 古典派時代（2）ベートーヴェン①
- 9回 古典派時代（3）ベートーヴェン②
- 10回 ロマン派時代（1）メンデルスゾーン、シューマン
- 11回 ロマン派時代（2）ショパン
- 12回 ロマン派時代（3）リスト
- 13回 ロマン派時代（4）ブラームス他
- 14回 近現代（1）19世紀末
- 15回 近現代（2）20世紀
- 16回 試験

＝成績評価の方法と評価の基準＝

期末試験の成績に加えて、出席状況や受講態度から総合的に評価します。毎回、出席確認を兼ねたコメントシートを提出してもらいます。

＝テキスト（必携）＝

使用しません。ただし、毎回プリントを配布するので、必ずファイリングして保管してください。